

第1回香川県がん診療連携協議会地域連携パス専門部会（大腸がん）会議メモ

1 日 時 平成21年8月26日（水） 19:00～20:00

2 場 所 香川大学医学部管理棟5階小会議室

3 出席者 香川大学医学部附属病院消化器外科病院助教 赤本 伸太郎
香川県立中央病院外科部長 鈴鹿 伊智雄
三豊総合病院外科医長 小林 成行
オブザーバー
香川県立中央病院外科部長 青江 基
香川県健康福祉部医務国保課副主幹 佐々木 秀朗
香川大学医学部附属病院中核病院機能強化支援室長 松岡 實夫

4 概 要

大腸がん専門部会のリーダーである香川大学医学部附属病院 赤本先生が議長となり、意見交換をした。

1. パスの作成と今後の進め方（地域連携パス部会での検討事項を含む）

- (1) 本部会でパスの中身を検討し、9月中に成案を作成する。
- (2) パスの成案をもとに、各拠点病院において連携している地域の医療機関との間で試験運用を行い、問題点を洗い出す。
- (3) 全体のパス部会において、地域連携パスに係る共通部分（フローチャート、私のカルテ等）を検討する。
- (4) 5大がんのパスの成案が整理できた段階で、県医師会と協議し、県内各医療機関向けのアンケート調査を行う。
- (5) 地域連携パスを運用する場合には、各医療機関（かかりつけ医）との間でミーティングを行い、医療機関間の相互理解を深める。

2. 大腸がんのパスについて

- (1) パスの形については、谷水班の地域連携パスを基本的に土台として、香川県独自の変更を加えて作成する。
- (2) 第一段階として、術後化学療法なしの患者のみを対象とする。
- (3) 連携パスの期間は5年とし、1か月目、後3か月毎にフォローアップを行う。
- (4) 胃がんパスと類似しているので、胃がんパスのひな型ができ次第、第2回大腸がん専門部会を開催する。開催予定は、高松市内で9月17日（木）とする。

以 上